

事後学習（ 年 月 日 ）

世界遺産や明治日本の産業革命遺産、
「遠賀川水源地ポンプ室」を学んで、自分の考えをまとめよう

現地学んだことを思い出しなが、印象に残ったものを描いたり、写真やパンフレットを貼ろう。



現地学んだことを通して、見聞きしたことや自分の意見や疑問を書き込み、自分の考えをまとめよう。

Handwriting practice lines for notes.



世界遺産「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼・造船・石炭産業」

学習ノート

～遠賀川水源地ポンプ室編～



遠賀川水源地ポンプ室 (写真提供: 日本製鉄九州製鉄所)

世界遺産とは、地球上にある歴史的な建造物や遺跡、人間が生み出すことができない自然景観や地形などの「人類共通の宝物」のことです。私たちは、この宝物を国や民族を越えて、後世に守り伝えなければなりません。
福岡県には、2015（平成 27）年に登録された「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」と 2017（平成 29）年に登録された「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群」の2つの世界遺産があります。
このワークブックでは、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」について学びます。



Form for school name and student information.

じ ぜん がく しゅう ねん がつ にち
事前学習 (年 月 日)

「明治日本の産業革命遺産」について調べよう



「明治日本の産業革命遺産」
福岡県
オンラインミュージアム

「明治日本の産業革命遺産」とは

- 「明治日本の産業革命遺産」は、最初に () で始まった産業革命が、ヨーロッパやアメリカ以外の地域で初めて成功したことを示しています。
- 日本では、() 時代の終わりから明治時代にかけて、外国の技術を学び、また、自分たちで技術を改良し、約()年という短期間で、重工業(製鉄・製鋼(鉄をつくること)、造船(船をつくること)、石炭産業(燃料となる石炭を掘ること)を発展させました。
- 「明治日本の産業革命遺産」は、8県11市に広がる()か所の施設などを一つにまとめたものです。
- 2015(平成27)年、()で初めて、今でも動いている工場を含む世界遺産が誕生しました。

福岡県の「明治日本の産業革命遺産」について

- 福岡県には、()市に「官営八幡製鐵所」、()市に「遠賀川水源地ポンプ室」、()市に「三池炭鉱・三池港」があります。
- 「官営八幡製鐵所」と「遠賀川水源地ポンプ室」は()に関する施設、「三池炭鉱・三池港」は()に関する施設があります。

資料(ホームページ、パンフレットなど)から気になった言葉や関心を持ったことを書き、話し合おう。

げん ち がく しゅう ねん がつ にち
現地学習 (年 月 日)

「遠賀川水源地ポンプ室」について、 現地で学んだことや気づいたことを書こう。

- 1 遠賀川水源地ポンプ室は、官営八幡製鐵所の()の生産が増えるに従って、もっと多くの()が必要となり、1910(明治43)年に建てられた施設で、今でも現役で使われています。
- 2 遠賀川水源地ポンプ室は、製鐵所から約()km離れた遠賀川の岸につくられました。遠賀川から引きこんだ水は、地下の送水管を通して、ポンプの力で中間市から製鐵所まで送られています。
- 3 遠賀川水源地ポンプ室の建物は、2つの三角形の屋根が特徴的で、()色と灰白色の2種類の()が使われています。
- 4 水を送るために、最初は()機関で動くイギリス製のポンプが設置されていましたが、現在は()で動くポンプが使われています。

現地で見たことや聞いたこと、気づいたことから感じた特徴などを書こう。

	特徴	感想
 見たこと		
 聞いたこと		
 気づいたこと		

